

Vol.20

2012年3月発行号
ご自由にお持ち下さい

に
じ

地域医療のかけはし
となることを願って



Contents

- P2~P3 診療科紹介
 - 整形外科・・・P2
 - 内科(循環器)・・・P3
- P4 4階東病棟へ行ってみよう!
- P5 IVR紹介
- P6 生活困窮者支援事業
(なでしこプラン)のご案内
- P7 認定看護師の紹介
- P8 診療日程案内



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会川内病院**

整形外科

関節リウマチの新しい治療法について

村角 恭一 (むらすみ きょういち)

済生会川内病院整形外科部長

当院の現況

2012年が幕を開け、年明け直ぐに80代の関節リウマチ患者さんの人工膝関節手術を行いました。その患者さんは、昨年度、反対側の膝の人工膝関節手術を行った方で、今回は2回目の手術なので、前回よりも楽だったと言って頂けました。2月はさらに二人の関節リウマチ患者さんの人工膝関節手術を行いました。当院は北薩地区において、最も多くリウマチ患者さんの人工関節手術を行なっている病院の一つであると自負しております。

一般の方と比べると、リウマチ患者さんの骨は脆弱で、その手術において、正確な骨切りと靭帯バランス、強固な固定、良好な手術成績を得るためには、教科書に載っていない長年の経験が物を言います。これらの経験を後輩たちに指導し、伝えていく事も私の一つの使命であると考えております。

治療目標

しかしながら、現在、関節結核の患者さんを診る機会がなくなつたように、10年、20年後の後輩たちは、末期リウマチ変形の患者さんを診る機会が激減するのではないか?と思うようになりました。

それは新しいリウマチ治療薬、生物学的製剤の登場により、関節リウマチ

の治療が大きく進歩してきた為です。これまでの抗リウマチ薬だけでは抑えきれなかった、長年に渡る関節破壊の進行を、新しい生物学的製剤は抑えこんでしまふことが可能です。生物学的製剤を数年間使用する事で、関節リウマチが寛解や完全治癒する患者さんもうらつしゃいます。まるで夢の様な薬と思われるかもしれませんが、デメリットが無い訳ではありません。むしろこれまでのリウマチ治療薬以上に、その効果と副作用について慎重に見極めて使用していく必要があります。

北薩地区において、この新しいリウマチ治療法を研鑽し、患者さんに広めていく為に、毎年、鹿児島県のリウマチ治療第一人者の先生方をお招きし、リウマチ勉強会を行い、座長を務めさせて頂いております。これまで鹿児島赤十字病院リウマチ科部長の大坪秀雄先生、吉玉リウマチ・内科クリニックの吉玉珠美先生、泉原リウマチ・内科クリニックの泉原智磨先生をお招きし勉強会を行つて参りました。

今、リウマチの治療目標は「寛解」といわれる時代となり、早期診断・早期治療により関節痛、関節の破壊進行を抑え、不自由のない日常生活が可能となる時代となつてきています。リウマチ、関節痛でお悩みの方は、当院整形外科へお気軽にご相談下さい。

2012年1月 リウマチ性膝関節症に対し、セメントタイプ人工膝関節手術施行術後5日目より全荷重歩行訓練開始、術後、関節の不安定性、疼痛は消失した。

正面



術前



術後

側面



術前



術後



内 科 (循環器)

心臓病 について

福岡 嘉弘 (ふくおか よしひろ)

済生会川内病院内科部長
日本内科学会認定内科専門医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本超音波医学会認定超音波専門医

当院循環器科は、循環器研修施設・超音波専門施設として、循環器専門医師(常勤2名、非常勤2名)、心エコー技師2名、担当スタッフで診療しています。

心臓病の頻度

全死亡原因のうち、心死亡は16%で、がん(30%)、脳血管疾患(12%)の三大死因で58%を占めます。日本では年間約5万人が心臓病を含めた突然死で命を落としています。心疾患と脳血管疾患の予防には共通点が多く、両者で実に28%の方が予防治療の恩恵を得ることとなります。わが国の心不全患者数は、統計によると390万人といわれ、その原因として虚血性心疾患、高血圧、弁膜症がほぼ1/3ずつといわれています。心筋梗塞を発症しますと、15%の方が病院搬送前に命を落とすとされています。

心臓をいたわりましょう!

心臓は、血液を送る重要臓器であり、生涯にわたって1日10万回も規則正しいリズムで拍動しています。時速60キロの車で人生80年間走行し続けると、地球を1051回まわる換算になります。20万キロ走る車2102台分です。このように絶え間なく働き続ける心臓には、動力源(血液)が必要です。十分な血液が供給できなくなると、虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)、不整脈を引き起こします。心臓にはがんは非

常に少ない反面、虚血性心疾患、またそれらにより心機能が損なわれる心不全、不整脈が問題になります。心不全を自己放置しますと、がんより生命予後が悪いこともあります。

また、心臓の働きは微妙なバランスの上に成り立っております。心臓と他臓器との関わりが代表として、心腎連関という言葉があります。これに貧血を加え、心臓-腎臓-貧血がお互いに悪循環を構成し、病態全体を悪化させます。危険因子についても、心血管病と慢性腎臓病の多くは共通しており、慢性腎臓病患者の心血管病管理も大切です。

このように絶え間なく働き続ける心臓、全身と密接に関わりを持つ心臓をいたわりましょう。

心不全にならないために

心臓病の進行の過程で心不全は問題になり、その程度により、様々な治療が行われています。心不全の誘因防止、心不全の原因に対する治療、心不全自体に対する治療にわけられます。心不全の誘因として、風邪、過労、ストレス、お薬の中断、高血圧の放置、貧血、腎不全の悪化などが挙げられ、規則正しい日常生活習慣、血圧コントロール、予防接種(肺炎球菌ワクチン・インフルエンザワクチン)が大切です。また薬に関しても、心不全の進行度により決められます。

当院では

心電図(負荷)、ホルター心電図、24時間血圧計、心エコー、頸動脈エコー、末梢血管エコー、心筋シンチ、心臓カテテル等の検査、ペースメーカー、下大静脈フィルター留置等を行っています。高齢化、欧米化社会において、心臓病の多くは生活習慣病であり、患者さんと共通した認識を持つことは非常に大切です。生活習慣を見直すきっかけづくりとして、管理栄養士による食事指導、動脈硬化(血管年齢)のチェックを行い、病気を未然に防ぐよう取り組んでおります。

胸痛、動悸、息切れ、下肢のむくみ等、気になる症状がおありの方は、一度、受診されてみてはいかがでしょうか。今後も川薩地域の中核病院としての役割を担い、更なる専門病院と連携をとりながら、日々の診療に取り組みで参りたいと思っております。

循環器内科関連の 研修施設について

済生会川内病院は、以下のような学会の研修施設として登録されております。

- 日本循環器学会
- 日本超音波医学会

Welcome!!4FHigashi-byoto

4階東病棟へ 行ってみよう!!

患者様に寄り添う
看護を大切に
日々がんばっています!!

- わ 和気あいあいと
- き 清く・正しく・美しく?!
- な 仲良く・楽しく
- か 家族のように



東日本大震災の
支援に行っ
て来ました。



病棟 師長 **脇中 みどり** Midori Wakinaka

4階東病棟は、主に泌尿器科(15床)・整形外科(28床)の混合病棟です。

他にも内科・外科・皮膚科の患者さんがいらっしやいます。患者さんの年齢層は、例えば昨年の場合、2歳の小さなお子様から102歳の方までと、大変幅広くいつも賑やかです。ご高齢の方でも長丁場の手術を乗り越え、元気に退院されていく姿を拝見するたび、その生命力の強さと医療技術の進歩に感動を覚えます。

泌尿器科では、腎臓・膀胱・前立腺等の腫瘍の外科的手術や、ストーマ造設、あるいは化学療法目的の患者さんが多く入院されています。デリケートな領域であり、特に患者さんの羞恥心に配慮しながらケアするよう努めています。

整形外科では、脊椎疾患、骨・軟部腫瘍、骨折・外傷等の治療が行われています。私達は毎日牽引の道具を持ちたり、押ししたり、引っ張ったり!ですから優しさ+力自慢のナースが粒揃いです!

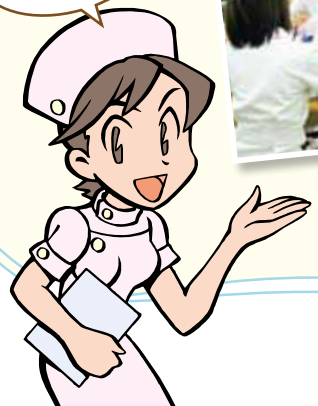
日常生活の援助と並行し、精神的なケアも忘れません。笑顔で日々看護に当たっています。窓やカーテンの開閉から、手の届かない物を取って欲しい等の要望に応えていく、家族のような存在であると同時に、勉強会を行い専門的な知識を持って、患者さんを支えていけるよう努めています。外科的治療が多い病棟ではありますが、手術が終わったらそれで終わりというのではなく、薬剤師による服薬指導、理学療法士によるリハビリ指導で、患者さんの順調な回復をサポートしたり、医療ソーシャルワーカーとの連携により、退院後の生活がよりスムーズに進むように様々なお手伝いをしています。平成20年の地域連携パス完成に伴い、入院時からクリニカルパスを導入し、地域医療連携室と密に連絡をとりながら、患者さんや家族が退院後も継続して、治療・看護を受けることが出来るよう支援しています。

最近、尿漏れのあるあなた! 残尿感を感じているあなた! おしっここの勢いがなくなったあなた! そしてグルコサミンやヒアルロン酸を摂ってもなかなか関節痛の取れないあなた! 迷わず当院の泌尿器科を、整形外科を受診下さい。入院となりましたら、力持ちの素敵なナースが心からのケアを提供致します。ぜひ4階東病棟へ!

季節感溢れる
カンファ風景



余興も
チームワーク
バッチリ!
の4東



IVRの紹介



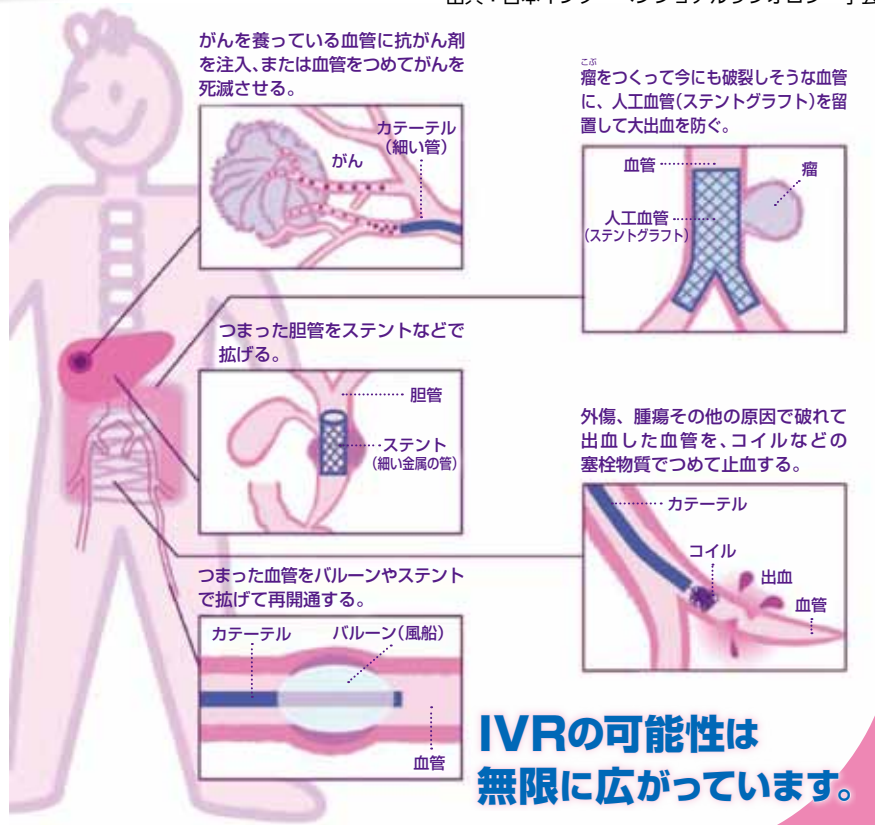
IVRはX線(レントゲン)透視像、血管造影像、US(超音波)像、またはCT像をみながら、カテーテルと呼ばれる細い管や、針を用いて外科手術なしで、できるかぎり体に傷を残さずに病気を治療する画期的な方法です。

詰まった血管や胆管を拡げたり、出血した血管をつめて止血したり、さまざまな治療を行います。手術を必要としないため、体への負担が少なく、病気の場所だけを正確に治療することができます。

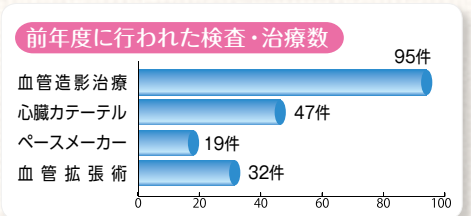
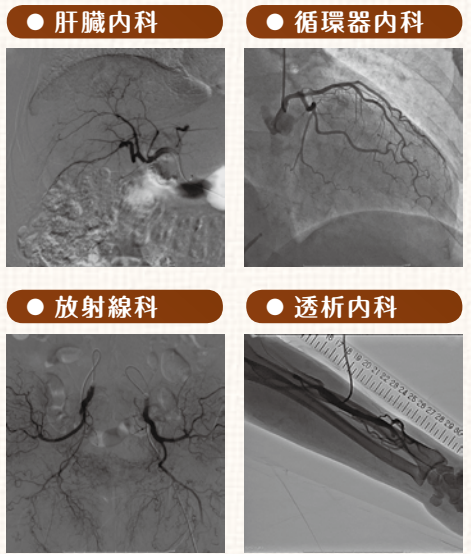
私たちの体内には、全部をつなぐと10万キロメートル(地球を2周半)の長さになる血管が張り巡らされています。また、胆管や尿管、消化管などの大切な管もあります。IVRはこれらの管にカテーテル(細い管)を挿入し、さまざまな治療を行います。

治療内容

出典：日本インターベンショナルラジオロジー学会



当院のIVR検査に携わる科




最後に

私たち放射線技師は、患者さんが安心してIVR検査・治療を受けて頂ける様、日々努力して参りたいと思います。

他にも...

- 体の外から細い針を刺し、特殊な電波などを照射してがんを焼く。
 - 骨粗しょう症でもろくなった骨の内部にセメントなどを注入して丈夫にする。
- ...などがあります。



 More information about the plan Nadeshiko

生活困窮者支援事業 (なでしこプラン)のご案内

いしはら はじめ
健康福祉課 石原 肇

済生会は、明治 44 年、明治天皇が時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療し、済生の道を弘めるように」との済生勅語を添え、お手元金を下賜されて設立されました。そして、経済的理由で医療を受ける事が出来ない人々を対象とした無料の診療活動を開始しました。

以後、100 年に渡り済生会は、創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実に必要な諸事業に取り組んで発展してきました。

平成 22 年度から、済生会では創立の理念に立ち返り、昨今の社会経済情勢を踏まえ、経済的な生活困窮者だけではなく、ホームレス、DV 被害者、刑務所からの出所者、在留外国人等に対して、院外でも、全国の済生会で医療福祉活動を通じて、積極的に生活困窮者支援事業に取り組んでいます。

以下に当院での取り組みをご紹介します。

- 1** 更生保護施設「草牟田寮」を訪問し入所者に対し、健康教室・健康相談・健康診断・インフルエンザの予防接種を実施。
- 2** 知的障害児通園施設「つくし園」の施設利用者の保護者に対して訪問相談を行うほか、施設職員に対して教育・研修を実施。
- 3** 養護学校児童の在宅生活に関する指導や評価、保護者に対する相談を実施。

上記の事業を、医師や看護師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー・事務職員等が無料で取り組んでいます。



更生保護施設「草牟田寮」での健康教室と健康相談の様子

更生保護施設～

刑期を終えた受刑者や執行猶予になった方等で、帰る場所がない方や、自立した生活が出来ない方を入所させ、自立できるように支援する施設です。



知的障害児通園施設「つくし園」の施設職員への教育・研修の様子

知的障害児通園施設～

知的障害児を自宅から通園させ、独立自活に必要な技能や知識を習得させる施設です。



今後も、積極的に生活困窮者支援事業に取り組み、医療・福祉サービスの提供に努めていきます。

認定看護師紹介



がん放射線療法看護
認定看護師

神村陽子

◆ 放射線療法に対する不安

最近放射線療法は、高齢者でも負担なく受けられ、身体の機能や形態も温存できる治療法として、広く一般の方にも知られるようになりました。その一方、原爆や原発事故のイメージと重なるためか、漠然とした不安を抱く方もおられます。実際に患者さんから「孫を抱っこしても被曝しませんか?」とか、付き添いで治療室に来られた妊娠中の女性から「この場所(治療待合室)はお腹の子供に影響はしませんか?」と聞かれたこともあります。認定看護師としてはこのような誤解を払拭し、患者や家族にとって必要な正しい情報を適切に提供することで、安心して放射線治療を受けて頂けるよう対応することも、大切な役割の一つだと考えています。



◆ 認定看護師について

認定看護師には「特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができて看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかる」ことを目的とし、実践、指導、相談、という3つの役割があります。現在19の認定看護分野があり、8994名の認定看護師が全国で活躍しています。その中で「がん放射線療法看護認定看護師」は「がん放射線療法の効果を最大限に得るため、放射線療法の治療過程により生じる患者の身体、心理、社会的問題の解決を支援し、長期にわたる治療を主体的に継続し完遂できるよう、水準の高い専門的知識と技術を提供する」ことを目的に2008年度に分野認定され、現在全国で64名が活動しています。

◆ がん放射線療法看護認定看護師をめざした理由

当院での放射線治療は1996年に始まりました。私は病棟で治療を受ける患者を受け持ちながらも、放射線に対する知識は乏しく、患者やその家族の放射線治療に対する不安や疑問に十分応えることはできませんでした。さらに人目から離れた場所にある治療室で照射が行われる特質も影響してか、何か疎遠で知識も浅いままでした。そんな時、私は国立がんセンター主催の放射線療法看護指導者研修会を受講する機会を頂き、それをきっかけにもっと知識を得たいと考え、その研修から1年後にがん放射線療法看護認定看護師の教育課程に入学、2011年日本看護協会の試験に合格し資格を取得しました。今後はさらに自己研鑽に努め、看護職員全体で放射線療法看護の質の向上をめざしたいと思います。

◆ 放射線療法におけるチーム医療

認定看護師になってから数人の事務スタッフに「あなたも放射線を出したりできるの?」という質問を頂き、思わず笑いながら「できませんよ」と答えたことがあります。もちろん私は機械を動かすことは出来ません。つまり治療室に看護師がいなくても放射線治療は出来るのです。しかし、看護師は独自の視点とコミュニケーションスキルを駆使して、患者の苦痛や不安の軽減、セルフケア支援を行いながら治療完遂を共に目指すことができます。放射線療法は患者を中心にチームで行う医療です。私は、主治医・放射線治療専門医・診療放射線技師、看護師等がしっかりと連携をとり、それぞれの役割をもって患者を支えることで、放射線療法の効果は増すと考えています。まだまだ頼りない認定看護師ですが、患者と医療スタッフ間、チームスタッフ間の橋渡しの役割を果たせるよう活動してまいりますので、気軽に声をかけて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



診察日程案内

平成24年3月現在

		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	糖尿病	西牟田 浩		菊池 晃		徳田 竜人		馬場 泰忠		久保田 敬子			
	消化器	藤田 俊浩				青崎 眞一郎		那須 雄一郎					
	肝臓	重信 秀峰 馬渡 誠一		重信 秀峰 大重 彰彦		樋脇 卓也 呉 建		重信 秀峰 大重 彰彦		重信 秀峰			
	循環器	福岡 嘉弘		福岡 嘉弘 網屋 俊		網屋 俊		福岡 嘉弘					
	ペースメーカー外来 (第3・4金曜)									福岡 嘉弘			
	腎臓	濱田 富志夫				前田 直		濱田 富志夫 (紹介のみ)		福元 まゆみ			
	呼吸器	末次 隆行 ※保木 浩子						副島 賢忠					
	一般内科	前田 直 濱元 ひとみ		宮田 生弥子		福元 まゆみ 大重 彰彦		濱元 ひとみ		網屋 俊 宮田 生弥子			
外科	外科		手術・検査	手術日	柳 政行	手術・検査	手術日		貴島 文雄	手術・検査			
	ストーマ外来 (第2水曜午後)					柳 政行							
小児外科	(一般外科手術)		(一般外科手術)	池江 隆正 (13-16時)	(一般外科手術)		(一般外科手術)	池江 隆正 (13-16時)	手術日		池江 隆正 (第2・4土曜) (9時30分-11時)		
整形外科	村角 恭一 高野 純	病棟回診	手術日	村角 恭一 高野 純	検査	手術日	村角 恭一 高野 純	手術・検査	術後回診				
小児科	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時 14-15時	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時,14-15時 1ヶ月,11-13ヶ月健診 受付13-14時	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時,14-15時 発達外来 受付14-15時	吉川 英樹・川邊 佳子 アレルギー外来 (第2・4木曜のみ) 受付9時半-11時	田中 主美 吉川 英樹	循環器 受付13-15時 予防接種 受付14-15時 (第2金曜のみ) 受付14時半-15時半	田中 主美 吉川 英樹			
泌尿器科	堂満 洋司 (紹介のみ)	手術	江浦 瑠美子	堂満 洋司	江浦 瑠美子	堂満 洋司	江浦 瑠美子	堂満 洋司	手術	手術			
産婦人科	産科	比良 高明	病棟回診	野口 慎一	1ヶ月健診 予約検査	河村 幸枝	手術	野口 慎一	予約検査	比良 高明	手術	河村 幸枝	
	婦人科	野口 慎一		比良 高明	野口 慎一	河村 幸枝		比良 高明		河村 幸枝			
眼科	非常勤医師		非常勤医師		木村 勝哲		木村 勝哲		木村 勝哲				
皮膚科	内田 洋平	手術	内田 洋平	予約診察	内田 洋平	病棟	内田 洋平	手術	手術	予約診察 病棟回診			
放射線科	熊谷 雄一	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	上山 友子	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一 又は熊谷 雄一 又は上山		
緩和ケア外来									15-17時 柳 政行 a(身体症状緩和・毎週) 中原 敬博(精神症状緩和・隔週)				
パインクリニック (第1・3・5土曜)											園田 拓郎		

- 予約が必要な診療科・検査がございます。恐れ入りますが事前にお問い合わせ下さい。
- 担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
- がんに関する相談をがん相談支援センターで行っております。(9時～16時)

予約・お問い合わせは
TEL (0996)23-5221 (代表) 予約電話 月～金曜日
内科:14時～17時 その他:13時～17時

理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

1. 患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
2. 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実現します。
3. 私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
4. 公的の中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
5. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者様の権利と責務について

権利について

1. 誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病院や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
3. 診療の過程で得られた個人の情報等(プライバシー)は守られる権利があります。

責務について

1. 自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
2. 医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
3. 病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。

■ は再診日です。

病院案内



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
TEL (0996)23-5221 FAX (0996)23-9797
<http://www14.synapse.ne.jp/saiseikaisen/>